

橋梁補修台帳作成要領

1. 台帳作成対象

橋梁補修台帳は、耐荷力の変更を伴わない補修を実施した場合及び橋梁点検実施時に作成する。(側道橋及び自転車・歩行者専用側道橋含む)

2. 台帳記入方法

項目	記入方法
橋梁名	上段にふりがなを、下段に橋梁名を記入
道路種別	一般国道、主要地方道、一般県道の別を記入
路線名	路線名を記入
位置	橋梁位置を字名まで記入
延長・幅員・荷重制限・適用示方書・竣工年次	当初竣工時の数値及び内容を記入
交通量	上段に、当初竣工時の交通量(計画交通量)を記入し、下段に現在交通量(最新の交通センサスによる交通量)を記入
補修内容	調査時の状況を記入 ① 破損箇所及び破損状況：調査時の状況及び調査年月日を記入する。 ② 補修方法：採用する工法を記入する。(計画含む) ③ 工事費：当該補修工事の概算工事費を記入する。 ④ 緊急度：調査時の破損状況に応じランクを記入する。 A；早急に対策を要する場合。 B；将来的に対策を要する場合。 C；当面は対策を要しない場合。
補修履歴	1回の点検調査に伴う補修工事を1回の補修履歴として考え、一連の補修工事の竣工年月日、補修内容、工事費を記入
備考	バス路線の該当の応否、現況の照明種類及び灯数を記入し、余白部には、過去の点検名称及び点検年月日、ランクを記入
状況写真	点検結果に基づき作成する場合は、現況写真を、補修した場合には、補修後の状況写真を添付
標準断面図	標準断面図を添付する。(複数の断面を有する場合は、縮尺を変えて全てを添付する。)
位置図	当該箇所を記入した管内図を切り取り添付